

令和7年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和7年4月17日
- ◆実施対象 中学3年生
- ◆調査内容
 - ・教科調査（国語、数学、理科）
 - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	◎
数学	◎
理科	◎

質問紙	
国語への関心等	◎
数学への関心等	○
理科への関心等	◎
規則正しい生活	○
自分に関すること	○
学校・友達に関すること	◎
家庭学習に関すること	△

◎＝全国平均を上回る（+1.1以上）
 ○＝全国平均とほぼ同じ（±1.0以内）
 △＝全国平均を下回る（-1.1以下）

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	全国との比較
国語	1二	書くこと	・ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものと適切なものを選択する。	・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができかどうかをみる。	85.1	◎
	2二	話すこと・聞くこと	・聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものと適切なものを選択する。	・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。	80.0	◎
	3二	読むこと	・「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く。	・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる。	91.1	◎

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
数 学	6(1)	数と式	<ul style="list-style-type: none"> 連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる。 	65.4	◎
	7(1)	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる。 	77.4	○
	8(1)	関数	<ul style="list-style-type: none"> A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。 	73.6	◎
理 科	2(2)	「エネルギー」の領域	<ul style="list-style-type: none"> 「Web ページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ストローの太さと音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。 	97.9	◎
	4(2)	「粒子」の領域	<ul style="list-style-type: none"> 「一酸化炭素は空気より軽い」という性質を基に、適切な避難行動を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる。 	93.9	◎
	5(1)	「粒子」の領域	<ul style="list-style-type: none"> 加熱を伴う実験において、火傷をしたときの適切な応急処置を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかどうかを見る。 	92.5	△

△もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
国語	2四	話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。 	26.6	◎
	3四	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。 	21.1	◎
	4二	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。 	33.7	◎
数学	1	数と式	<ul style="list-style-type: none"> 1から9までの数の中から素数を全て選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 素数の意味を理解しているかどうかをみる。 	34.4	◎
	4	関数	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数 $y = 6x + 5$ について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかをみる。 	28.9	△
	6(2)	数と式	<ul style="list-style-type: none"> $3n$と$3n+3$の和を $2(3n+1)+1$と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。 	27.3	◎
理科	2(1)	「エネルギー」の領域	<ul style="list-style-type: none"> 【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる。 	19.9	◎

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
理科	8(2)	「地球」の領域	<ul style="list-style-type: none"> • Aさんの考えを肯定するためにはボーリング地点③の結果がどのようになればよいかを判断し、青色の地層を移動させ、ボーリング地点③の結果をモデルで示す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる。 	27.8	◎
	9(1)	「地球」の領域	<ul style="list-style-type: none"> • 【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる。 	28.4	△

◆成果と課題

- 国語、数学、理科ともに全国平均を上回るという結果でした。
- 国語：「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内容で概ね全国より正答率が高い結果となりました。しかし、文章を読み、自分の考えとそのように考えた理由について記述する問題に課題があるようです。日頃から本を読む習慣や自分の考えをまとめて書くなどの取組みが必要だと感じました。
 - 数学：「数と式」の領域において、すべての問題で全国平均を上回る正答率となりました。しかし、数学的な表現を用いて説明する記述式の問題では、全国同様正答率が低く、課題のある生徒が多いことが分かりました。
 - 理科：4領域（「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」）全てにおいて正答率が全国平均を上回っていました。しかし、「地球」の領域のうち、特に、時間的・空間的な見方を働かせて資料を根拠に説明する記述式の問題は、全国同様正答率が低い結果となりました。

◆今後の取り組み

湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 解答例の説明に加え、誤答について「どうして間違いなのか」「どこが間違っているのか」など考える機会を設けた。
- 苦手とした問題を復習し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 国語、数学、理科の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。

★国語★

- 生徒が書いた文章を、互いに推敲する場を設けることで、書く力と共に読み取る力を培う。
- 物語文、説明的文章に関わらず、読み比べを取り入れ、批評的な視点から文章に向かう活動を取り入れることで、根拠をもとに自分の考えを伝える機会を設定する。

★数学★

- 数学が日々の生活で役立っている場面を紹介したり、実感させたりすることで数学の良さや必要性を感じさせる活動を行う。
- 解答を確認するだけでなく、説明し合う時間を意図的に設け、対話の中から論理的な思考力を育む習慣をつける。

★理科★

- 授業で学んだ知識を生かせる場面を意図的に設定することで学ぶ必要感をもたせる。
- 生活場面の中で見られる自然現象を授業と関連付けることで学習意欲を高める。

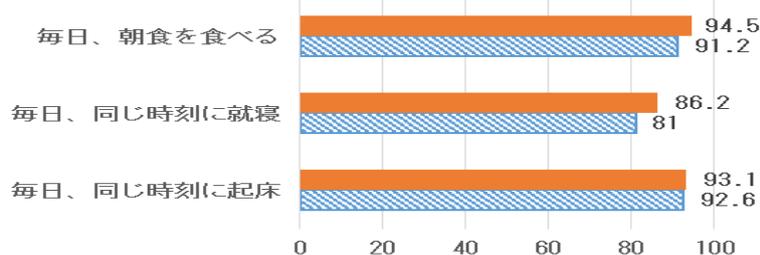
今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

質問紙調査に関すること

質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計70の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。

■湖西市 ■全国

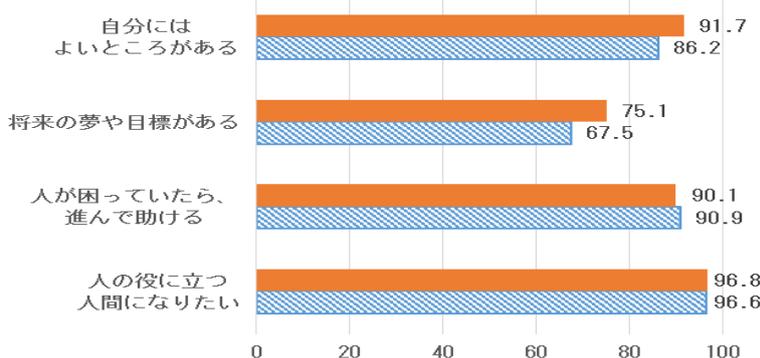
規則正しい生活…○



毎日朝食を摂り、十分な睡眠と休養を習慣付けることで、集中力が高まります。

お子さんは、勉強と部活動等との両立は大変かと思います。家族で帰宅後の時間の使い方を決め、メリハリのある生活が送れるよう、声掛けや見届けをお願いします。

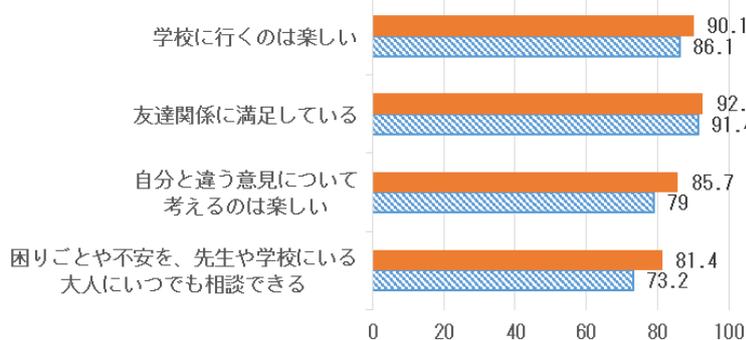
自分に関すること…○



「将来の夢や目標がある」と答えた生徒が全国平均と比べて高い傾向が見られました。

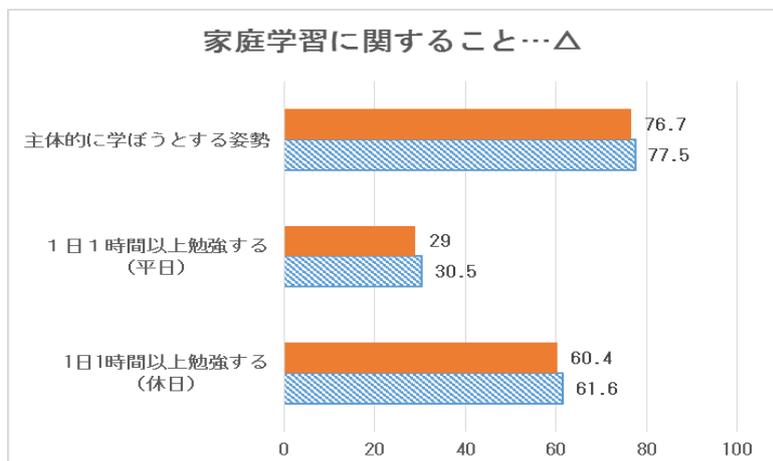
家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、生徒の自己肯定感を高めます。様々なことに挑戦し、成功と失敗を経験しながら、しなやかなでねばり強い人に成長してほしいと思います。

学校・友達に関すること…◎



9割の生徒が「学校が楽しい」「友達関係に満足している」と答えています。

学校は、色々な人との関りについて学ぶ場でもあります。中学生という多感な時期は、困りごとや不安で悩むこともあると思います。一人で抱え込まず、まわりの友達や大人に相談してみよう、というメッセージを学校からも伝えていきます。



家庭学習に関する項目は、全国平均と比べてやや低い傾向にあります。

家庭でも、学習や娯楽に ICT 機器が欠かせなくなっています。今回の調査では、SNS や動画視聴の時間が長いほど、全教科において、平均正答率が低い傾向が見られました。使用する時間や場所、内容など、いま一度お子さんとルールを話し合ってみてください。

学びの基礎 7つの取り組み

愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを大切に、自分の考えをもとう
- 健康な体づくりに努めよう
- 笑顔で気持ちよくあいさつをしよう
- 夢に向かって、いろいろな体験をしよう
- 規則正しい生活習慣を身につけよう
- 栄養バランスのよい朝食をとろう
- 家族と約束して、テレビやスマホ中心の生活を見直そう

調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちらからどうぞ

